

NEWS

認定 NPO 法人障害者放送通信機構

福祉避難所・高齢者施設等に「アイ・ドラゴン4」を設置してください
～「障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」を活かして～

全日本ろうあ連盟と障害者放送通信機構が協力して、『「アイ・ドラゴン4」避難所等への設置に向けたオンライン会議』を開催しました。会議は 5 月 17 日・24 日・27 日の 3 回開催され、各都道府県協会の「アイ・ドラゴン4」普及担当者が参加しました。「障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」を活かして「アイ・ドラゴン4」普及運動を進めるために、いろいろな知恵や経験を出し合い、意見を交換しました。また、ご当地の市町村に、聴覚障害者災害救援中央本部・各協会・障害者放送通信機構連名の要望書を提出する具体的な方法や、運動の進め方を話し合いました。

埼玉県

草加市内には 4 ブロックの地域があり、実際に災害が起きた場合、きこえない人は一つの場所に集まるのではなく、それぞれのブロック内の避難所に避難する。そこで、ブロックごとに 4 台の設置に成功した。

岩手県

岩手大学と、災害時における緊急システムについてとりくんでいる。Jアラートが発動したら、「アイ・ドラゴン4」を通じテレビに自動的に電源が入り NHK の緊急災害放送にチャンネルが切り替わるしくみ。ホテルへの設置の話も聞いている。災害、津波被害のあった沿岸部の市町村に設置の要望活動をしたい。福祉担当者に「アイ・ドラゴン4」の交渉をしてきたが、防災課も交渉をすすめたい。

兵庫県

法人関係団体、事業所等全部には設置していないので、関係施設に設置してもらおうようにしたい。「アイ・ドラゴン4」の設置施設は 16 か所ある。設置されている公的施設に行き取材をして、その記事を機関紙に掲載し発行しようと考えている。6 月に総会、ろうあ協会代表が集まるので要望活動の説明をしたい。

鳥取県

「アイ・ドラゴン4」だけを集中して要望するのではなく、手話マークや筆談マークを積極的に使ってほしいなどの要望も入れている。地域の状況にあわせてやればいいと思う。10 月までに要望活動をするのは、来年度予算に組み込んでもらうという意味がある。「アイ・ドラゴン4」を普及することでデフリンピックの知名度も上がる。

長野県

近隣に大規模な商業施設建設中。そこにホテルも入るようなので、「アイ・ドラゴン4」を設置してもらう交渉を検討している。

山口県

昨年は DVD で PR した。今年もしたい。「アイ・ドラゴン4」の必要性がまだまだ理解されていない。災害でも必要なのだと説明し、各地に要望していきたい。

「アイ・ドラゴン4」の機能



聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」

認定特定非営利活動法人 障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています。



- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る（全国の聴覚障害者情報提供施設と協力）
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る（国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）助成事業）
- 手話番組アーカイブが 24 時間いつでも見られる（防災学習用としてもお使いいただけます）

「目で聴くテレビ」はきこえない・きこえにくい方、きこえる方、お子さまからお年寄りまでいろいろな方に楽しんでいただける番組です == 番組アーカイブは2,000本を超えました ==